

反畑 誠一(たんばた・せいいち)先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

音楽評論家。

立命館大学産業社会学部客員教授(本講座の他、「企画研究」・専門特殊講義 SK「ポピュラー音楽論」を担当)。

一般社団法人 日本音楽著作権協会(JASRAC) 理事。

日本レコード大賞 常任実行委員・アルバム大賞審査委員。

毎日芸術賞推薦委員。駐日韓国大使館諮問委員会委員。

新聞コラム「ヒットの周辺」(京都新聞など 26 紙毎週掲載)。

コンサート評・ポピュラー音楽部門(「日本経済新聞」)など

多数執筆中。音楽情報番組「うたなび！」

(京都放送など 12 局ネット)のナビゲーターを務める。

アジア各国の音楽文化・産業の研究・分析も手掛ける。



〈講義概要〉

後期は、本講座のコーディネーターであり音楽評論家でもある立命館大学客員教授の反畑誠一氏によるオリエンテーションによって開講した。

講義ではまず、本講座が寄附によって成り立っていることや講座の歴史、概要を説明し、寄附を賜った4団体について詳しく紹介した。また、第一線でご活躍中の素晴らしいゲスト講師のご講義を聴くことのできる貴重な機会であると言及。学習目標や講義を受講するにあたっての心構えについても具体的に説明し、自主学習を行い、講義の理解を深めるよう促した。

さらに、本講座の学習の基礎知識として、コンテンツ産業の概念や現状について解説した後、デジタル技術の進歩がもたらした「情報革命」について産業革命の観点から分析し、分かりやすく説明。エンタテインメント産業の今後の展望を考える上で必要な知識を示した。

続いて、日本のレコード産業の変遷について重要なキーワードを提示しながら詳しく解説。デジタル技術の発展に伴いレコード産業が大きく変化した実態や問題点を示し、今後も更なる改革と構築が必要であると言及した。

最後に、次回からの講義テーマと豪華な講師陣を紹介するとともに、各講義の学習のポイントや関連する著書を紹介した。積極的に事前学習や質問を行い、意欲的に取り組むよう促した。

《受講生の感想》

● 前期もこの授業を受講して、現代の情報産業と音楽文化について、様々な場面で考えることが多くなりました。著作権法改正という大きな局面を向かえている今、コンテンツ業界に携わる人々のお話を直接伺うことのできるこの講義は大変貴重な機会であるので、積極的な姿勢で取り組みたいと思います。また、本日の講義について、「産業革命より重要な転機」という内容は大変興味深く、もっと調べてみたいと思いました。

立命館大学・映像学部・3 回生

● 改正著作権が施行されたり、新しいデバイスや流通の仕方が次々と登場したり変化の激しい業界であると思うので、講師の先生方のお話を聞きながら自らも情報を取り入れつつ学んでいきたいです。また、業界の状況が変わっても、コンテンツ自体の質が重要ということを講義で感じました。私は映像学部なので、そういった制作に関するヒントもこの講義から得たいと思います。そして、デジタル・ネット時代の新しいビジネスの形に関する知識も身に付けたいです。

立命館大学・映像学部・3 回生

● デジタル技術の進化やインターネットの普及により、現在、音楽だけでなくエンタテインメント産業の重要な転換期と激変する時期だと感じています。そこで生じる問題、ポジティブな面もネガティブな面も多面的に学べたらと思います。ユーザー、消費者として積極的に質問して学んでいきます。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

● CD やネット配信のことを歴史を踏まえて話していただいて興味を持って聞くことができました。音楽市場が現在、どのような変化を遂げているのかということはもともと興味があったので、激変日本のレコード産業の課題について、どうしてそうなったのか深く考察していきたいと思いました。あまり今まで関わってこなかった分野のことを聞けるので、意欲的に取り組んでいこうと思います。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

● 私たちの生活において音楽はとても身近であり、ライフスタイルの形成に関わるもので、その音楽が産業としてあらわれる時、どうなるのか、どのような問題

があるのか、今後どうなっていくのか、そのようなことをしっかりと考えながら積極的にお話を聞いていきたいです。これからたくさんの方の講義が聞けることが本当に楽しみです。

立命館大学・産業社会学部・3 回生

● CD 市場の生産金額が低迷していることと音楽配信の市場も右肩下がりであることは業界の危機だと感じた。ただし、音楽の違法ダウンロードのみが現状を作り出しているとは思えない。かつてのように音楽が発展するような方法を授業を通じて自分なりに検索したいと思う。

立命館大学・法学部・5 回生

● デジタル技術の進化を産業革命より重要な転換とは今まで考えた事はなかったが、歴史を追って見ていくと確かに大きな転換であることが分かった。また、日本の音楽産業の歴史を世界との関わりを交えながら具体例を挙げて説明していただけたので非常に分かりやすかった。前期もこの授業を受講していたので、そのことも踏まえてより理解を深めていきたい。

立命館大学・産業社会学部・1 回生

● レコード産業の変遷のポイントが分かりやすかったです。ネットやスマホの普及によっての影響が大きいくと感じました。今後の展開、これまでの音楽コンテンツはどう変化するのか、それには何に関係するのか学びたいです。また違法ダウンロードの問題や再販価格制度とコピーコントロールCDの問題は自分でも調べてみようと思いました。

立命館大学・映像学部・4 回生

● 私たちの身近に存在する著作権というものを詳しく知ってみたいです。また、これからたくさんのゲストスピーカーが来てくださるということで音楽やメディアについて話が聞けて、それぞれの業界の裏のようなどころまで学ぶことができると思うと、とても楽しみです。色んな講義の内容を受けてそれらを活かし、自分の考えが出せるようこの講義で様々な知識を吸収していきたいです。

立命館大学・産業社会学部・2 回生